

経営比較分析表（令和6年度決算）

熊本県 八代市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	88.51	1.35	100.00	5,210

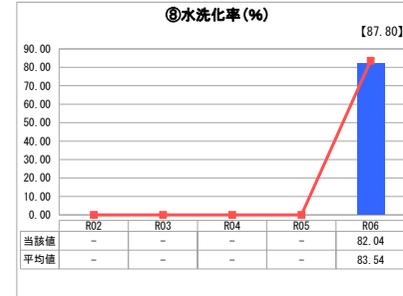
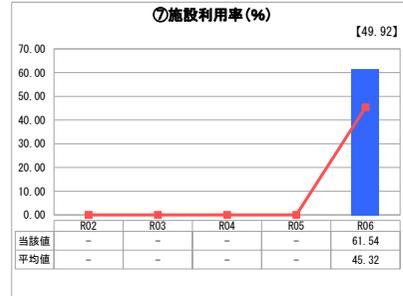
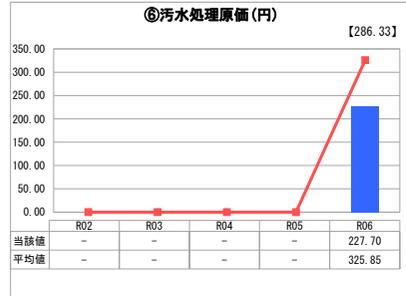
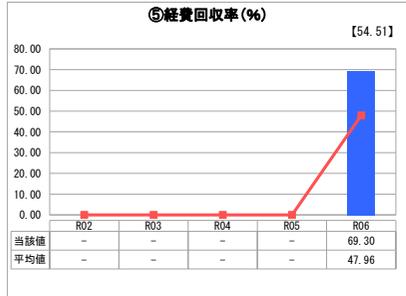
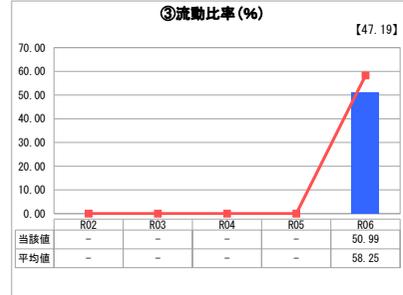
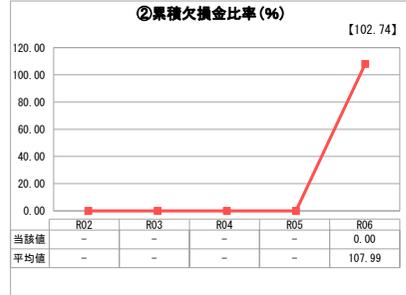
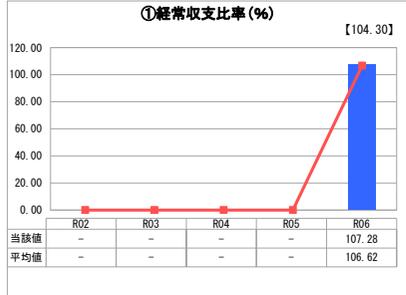
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
120,023	681.30	176.17
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
1,615	6.60	244.70

グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)

【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率・⑤ 経費回収率
経費回収率に関しては、平均を上回っているものの、事業の運営に必要な費用を収益で賄っていない状況にあることから、今後も歳出の削減と収入の確保に努め、経営改善を図ってまいります。

④ 企業債残高対事業規模比率
平均値を下回っており、今後も計画的に企業債の減額に努めます。

⑥ 汚水処理原価
平均値より低いものの、高い水準にあります。資本費（※過去の整備に要した企業債の償還額）が過大であることが高い数値の要因です。

⑦ 施設利用率
平均値より高いものの、今後、人口減少に伴い処理場の処理能力にも余裕が出てくると予想されます。

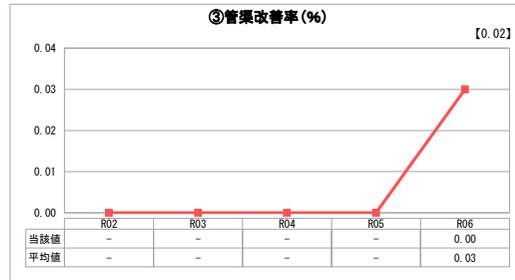
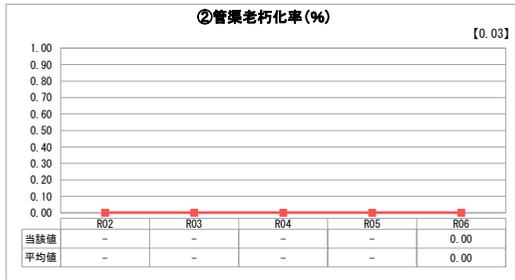
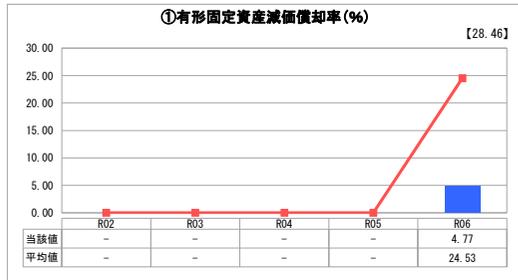
⑧ 水洗化率
近年は平均値を下回っており、あまり伸びていないのが現状です。要因として、接続済人口が減少しているためです。今後も各種媒体を用いて未接続世帯へ接続をお願いしてまいります。

2. 老朽化の状況について

管渠につきましては、まだ耐用年数を経過していないため、改築・更新には着手しておりません。

平成29年度実施の機能診断調査結果に基づき令和元年度に策定した最適整備構想を受け、施設の延命を図りながら適切な維持管理を行っていくことにより、事業地域の安全・安心の確保はもろろんのこと、経済的な効率性も追求し、農業集落排水処理施設事業の継続と安定的な運営を行ってまいります。

2. 老朽化の状況



全体総括

本市の農業集落排水処理施設事業は、令和6年度に企業会計へ移行しました。

今回の分析結果としては、全体的に類似団体と同じか、比較的良好な数値となっています。

しかし、事業地域が山間部の農村地域であり、今後は人口減少に伴い収入減となることが予想されます。

このような中、将来にわたる持続的な事業経営を見据え、令和3年度から令和12年度を計画期間とした経営戦略を策定しました。さらに経営健全化のため、令和5年5月請求分から6.8%の料金改定を行いました。なお、令和7年度には、経営戦略の改定を行います。

今後とも更なる歳出削減に努めるとともに、企業債残高及びその償還額が過大にならないよう計画的な改築・更新を行い、安定的な事業運営を目指して努力してまいります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。